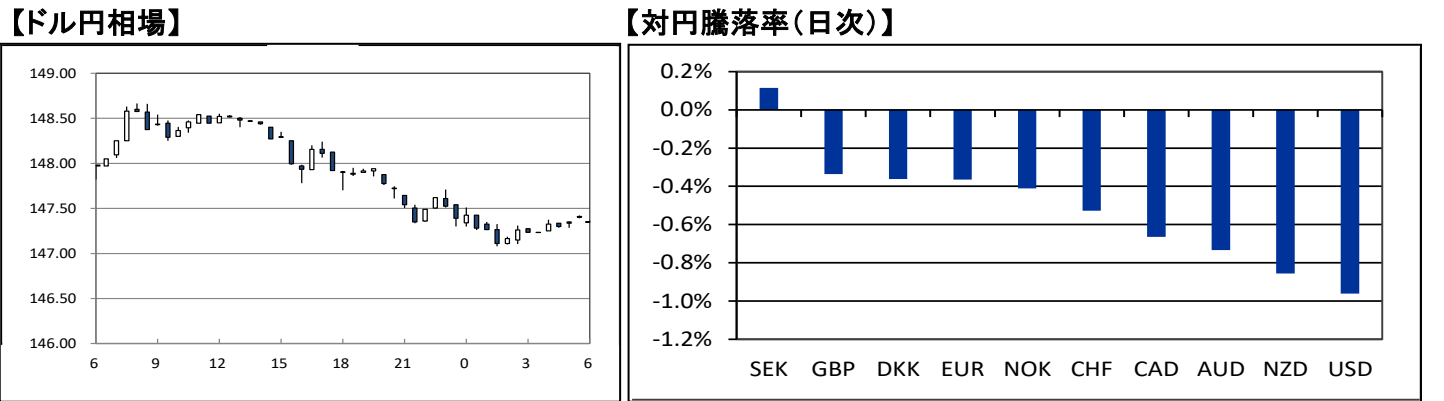


【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	148.45	1.1628	172.52	1.3416	0.6513
SYD-NY High	148.66	1.1717	172.78	1.3510	0.6537
SYD-NY Low	147.08	1.1615	171.93	1.3405	0.6500
NY 5:00 PM	147.35	1.1699	172.33	1.3492	0.6525
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,323.07	▲ 19.12	日本2年債	-	-
NASDAQ	20,974.18	78.52	日本10年債	-	-
S&P	6,305.60	8.81	米国2年債	3.8597%	▲0.0105%
日経平均	-	-	米国5年債	3.9158%	▲0.0324%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.3777%	▲0.0408%
シカゴ日経先物	39,840.00	90.00	独10年債	2.6170%	▲0.0735%
ロンドンFT	9,012.99	20.87	英10年債	4.6015%	▲0.0715%
DAX	24,307.80	18.29	豪10年債	4.3320%	▲0.0060%
ハンセン指数	24,994.14	168.48	USDJPY 1M Vol	9.96%	▲0.76%
上海総合	3,559.79	25.31	USDJPY 3M Vol	9.90%	▲0.35%
NY金	3,406.40	48.10	USDJPY 6M Vol	9.93%	▲0.21%
WTI	65.95	▲ 0.10	USDJPY 1M 25RR	▲1.08%	Yen Call Over
CRB指数	304.79	▲ 1.32	EURJPY 3M Vol	8.16%	▲0.48%
ドルインデックス	97.85	▲ 0.63	EURJPY 6M Vol	8.60%	▲0.29%

東京	ロニー時間帯にドル円は一時147.74まで下落。週末に実施された参議院選挙において自公過半数割れの結果となったものの、一部の市場参加者が予想していたほどの大敗とはならなかったことや、イベント通過に伴う安心感等により円高が進行した。しかしその後は財政拡大派の意見取り込みに迫られる可能性が再認識され、円が売り戻される中、アジア時間のドル円は148.45レベルにてオープン。その後もドル円は底堅く推移し一時148.55まで上昇するも、本邦休日の中、上値を追う動きは限定的となり、148.00レベルで海外時間へ。
ロンドン	ドル円は148.00レベルでオープン。日本祝日の中、アジア時間の流れを引き継いで軟調に推移。米金利が低下したことを受け、ドルは主要通貨に対して弱含んだ。ドル円は147.51まで下落した後、147.51レベルでNY時間に渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は147.51レベルでオープンした後、特段注目の経済指標の発表が無い中、米金利の低に伴った売りが重しとなり、147.08まで下落する軟調な推移。午後は新規材料乏しい中、147.40付近まで小幅戻し、その後147.35レベルでクローズ。一方、ユーロドルは米金利の低下に伴った売り地合いから、1.1717まで上昇する底堅い推移。午後はドル売りに巡となり、終盤にかけては1.17台を割り込み、その後1.1699でクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event			結果	予想
7月18日	08:30	日	全国/全国コア/全国コアコアCPI	6月	3.3%/3.3%/3.4%	3.3%/3.4%/3.3%
	21:30	米	住宅着工件数	6月	1321k	1300k
	21:30	米	建設許可件数・速報	6月	1397k	1387k
	21:30	米	住宅着工件数(前月比)	6月	4.6%	3.5%
	21:30	米	住宅建設許可(前月比)・速報	6月	0.2%	-0.5%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	7月	61.8	61.5
Date	Time	Event			予想	前回
7月22日	21:30	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.80-148.50	1.1600-1.1780	171.50-173.50

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円はじり高の展開を予想する。21日のドル円相場は、20日に行われた日本の参院選で、自民・公明の与党議席数が過半数割れとなったが、予想対比与党が善戦・石破首相も続投を表明し、円が買われる展開に。しかし、政権基盤の脆弱性に加え、財政拡張的な政策を唱える野党勢力の拡大が意識され、ドル円の下値は堅い展開となるか。一方で、石破首相の続投を受け、最悪のシナリオであった政権交代は回避できる公算が高く、円売り圧力も限定的と見ている。